



1/23 上土幌の子が大活躍
大野さん全国大会へ

1月25日から愛知県で開催される第49回後藤杯卓球選手権大会に出場する上土幌中学校卓球部大野隆斗さんが役場を訪問しました。大野さんはカデット男子の部に出場します。

町長からは「今までの経験を活かし、これまでは出場することが目的だったと思うがこれからはその上を目指してほしい」と激励し、大野さんは「今大会は初出場。緊張せず自分のプレーをしたい」と話しました。



1/29 悔いのない大会に
上中スケート部全国大会出場

2月1日から長野県で開催される第40回全国中学校スケート大会に出場する上土幌中学校3年有坂優宏さん、2年石川詩月さんが役場を訪れました。

町長は「これまでの成果を出し、記録を少しでも伸ばして悔いのない大会にして」と激励しました。選手は「今までの成果を出しきり、思い出に残る大会にしたい」「大会新記録と表彰台を目指して頑張りたい」と力強く意気込みを語りました。



1/30 北北海道の代表として
黒沼さん選抜大会出場

2月1日から開催される北海道トレセンU-11冬季交流大会に参加する黒沼蓮さんが教育長を訪問し、出場への抱負を話しました。

黒沼さんは北北海道トレセンU-11キャンプで北北海道トレセンU-11に選出され、今大会に出場する事となりました。

黒沼さんは「攻守で活躍してチームに貢献し、優勝を目指したい」と力強く話しました。



2/5 幻想的な空間
アイスクャンドルナイト

特別養護老人ホームすずらん荘の前に560個のアイスクャンドルが並びました。

アイスクャンドルはほっこり仲間の会を中心としたアイスクャンドルナイト実行委員会が企画、制作しました。この日は午後5時ごろから火を灯し、多くの方がアイスクャンドルの幻想的な光を楽しみました。

林実行委員長は「今年は凍れる日と雪が少なく苦労した。ぜひこの光を楽しんで」と話しました。

1・2月の
まちのわだい



▲2月3日、こども園「節分の集い」にこわ〜い鬼が登場!



▲1月25日、町民スケート大会が開催され、幼児から大人までが真剣勝負を繰り広げました。

1/18 寒い冬を楽しもう!
子ども冬まつり

幼児から小中学生を対象とした子ども冬まつりがふれあい公園で開催され、多くの子もたちが参加しました。

会場では熱気球のバーナー体験、ゴンドラからマーカーを投げる体験、高所作業車からのお菓子まき、ロープ渡り体験などのさまざまなイベントを楽しみました。また会場では無料で提供された牛丼やラーメン、気球焼きなどに舌鼓をうち、冬を楽しんでいる様子でした。



1/21 生産者の方と一緒においしく
じゃがいもを寄贈

11月に農協青年部より寄贈いただいたジャガイモを使用した給食が提供され、2年生の教室で青年部の方5名と一緒に食べました。

当日はジャガイモを使用したポークビーンズが給食に登場しました。青年部の方からは「いもはいろいろな調理法があるので食べる機会が多いと思うが、沢山食べてほしい」とお話がありました。児童は青年部の方と話しながら楽しい時間を過ごしました。

スポーツチャレンジ教室 ペアレンツ・スクール

2月9日、上幌町教育委員会、北海道、北海道新聞社主催でスポーツチャレンジ教室とペアレンツ・スクールが開催されました。アテネ、北京、ロンドン五輪に出場し、北京五輪では陸上4×100mリレー銀メダルを獲得した高平慎士さんを講師に招き、スポーツチャレンジ教室では、子どもたちに走ることや運動することの楽しさを伝え、ペアレンツ・スクールでは「子どものより良いサポーターを目指して」と題し講演を行いました。

スポーツチャレンジ教室

スポーツチャレンジ教室では、始めに体を使ったゲームを行い、参加者の緊張をほぐした後、スキップや、リズムカルに手足を使う走り方などを行いました。

最後には、高平さんと参加者が一緒に競争し、会場からはあまりの速さに驚きの声が聞こえました。

子どもたちに対し「自分の考えたことを、自分の体を使って、表現することが速く走るためにはとても大切」と話しました。



ペアレンツ・スクール

ペアレンツ・スクールでは、保護者の方向けに、スポーツの大切さ、子どもとの距離感などについて講演いただきました。

講演の中で、「子どもを育てるうえで大切なのは距離感。転ばぬ先の杖をつくのをごとこらえて、見守ってあげてほしい」と話し、自身の経験から子どもとの距離感と見守ることの大切さについて話しました。

また、「子どもは親を見て成長する。親が学ばなくなれば、子どもも学ぶことをやめてしまう」と話し、親自身も子どもと一緒に成長する大切さを話しました。

講演後は質疑応答の時間が設けられ、多くの質問が出され、大盛況のうちに終了しました。



2/10 これからもお元気で 渡部オツギさん100歳

渡部オツギさんが2月10日に満100歳を迎えられたお祝いとして、竹中町長から祝状と祝金を贈呈いたしました。

すずらん荘で行われた贈呈式では、家族や施設の方に囲まれながら和やかなムードで行われました。

渡部さんは100歳を迎えられた感想を「100歳を迎えられたことはみなさんのおかげ。とても感謝しています」とお話しされました。



2/10 最高のパフォーマンスを 上中卓球部全国大会出場

2月14日から大阪府で開催される第59回大阪国際招待卓球選手権に出場する上士幌中学校卓球部千年颯太さんと大野隆斗さんが役場を訪問しました。

千年さんはジュニア男子の部と男子ダブルスに出場し、大野さんはカデット男子の部に出場します。

千年さんは「去年はカデットの部でベスト64だった。今年は昨年以上の成績を目指す」と話し、大野さんは「緊張せず自分のプレーをしたい」と抱負を述べました。



地域を変えていく新しい力 地域おこし協力隊活動報告

TITLE:まなびの広場

記:生涯活躍のまち推進員 安田 涼



株式会社生涯活躍のまちかみしほろで勤務しています。今回は、会社に関わっている事業のひとつ、「まなびの広場」に関してご紹介します。「まなびの広場」は中学生を対象に、札幌のNPO法人いきたすと協同して運営しています。教えることよりも学ぶことに力点を置き、生徒が自ら課題を発見して学習する姿勢を身につけてもらう場として、夏期と冬期に実施しました。

札幌や釧路から来た大学生の学習サポーターが常時5～6人待機し、生徒は期間中いつでも来ることができます。まなびの広場に参加している生徒は、タブレットやスマートフォンを利用し、自主学習教材ですべての科目と単元を学習することができます。好きな科目をがんがん進める子もいれば、苦手な単元にチャレンジする子もいます。また、もくもくと宿題を進める子もいます。学習サポーターは、生徒を励ましたり、一緒に問題を考えたり、時には干渉せずにそっと見守ります。

生徒たちには、自ら学ぶ力を身につけることで、これからの社会を生き抜いていく土台を築いてほしいと思います。



川柳

わが家だけ夫婦の会話九秒台
家なかで軽い体操茶を濁す

わ 本
か 代
な 喜
翠 代
子

短歌

かさかさと軽き音にて柏の葉の大きが舗道を転げてゆけり
引き廻す妻に従ふ掃除器のときには邪険にたぐり寄せらる
ハノンをば手ほどきくれし恩師より来ん年白寿と賀状の恋し
難人形わっかの入り口飾られて行き交う人らを出迎えてくれし
午前6時の愛の鐘なる前に起きストロブに薪をくべるも日課
穏やかな気持になりて時忘れグレイションを入れさをり織りする
掃除の仕事に励むわっかにて人らやさしく声かけてくれる
残灰の不始末により焼け落ちしわが母校なり遠き日の事
妙月の寒さ極まるこの朝わが街空に熱気球舞へり
休みにイラスト描いて楽しめり色を選んでアニメのキャラを
妙月の昨夜降りし雪重くお年よりの家除雪に来れば

瀬 佐 石 中 高 松 小 米 尾 本
戸 藤 川 村 木 田 松 森 野 間
洋 葵 裕 仁 誠 理 義 真 よ し 栞
明 衣 子 志 也 恵 美 弓 乃 風



◎ 今月の表紙はウィンターバルーンミーティングの斉離陸の様子です。気球が一斉に空に飛び立つ景色は何度見ても感動します。佐賀のバルーンフェスでは一度に100機以上の気球が飛び立つそうです。空が気球で埋め尽くされる光景は、人生で一度は生で見てみたいものです。…Y

◎ 世間といいますが、世界では新型コロナウイルスで大騒ぎとなっております。日に日に感染者が増え、治療薬も無い、というのはとても怖いものです。しかし個人的には、十勝管内で学級閉鎖等が相次ぐインフルエンザのほうがより身近で恐怖を覚えます。私事ですが、以前インフルエンザとノロウイルスに連続して罹患した経験があります。いやあ、あの時はもうダメだと思いました。…T

広報 **かみしほろ** 4月号は **3月25日(水)** 発行予定

令和2年 1 月末現在の人口

男 性	2,428人(+1人)
女 性	2,532人(+2人)
人 口	4,960人(+3人)
世帯数	2,557世帯(+1世帯)

令和2年度 ふるさと納税寄付金

1 月分	837 件 20,699,696 円
累計	80,717 件 1,462,799,369 円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。
※2月13日現在

寄 付 (2/14まで)

◎11月19日、山本雅晴様が福祉の振興のため(故・山本安徳様が生前お世話になったお礼として)50万円を寄付されました。

上士幌町民憲章

- 1 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
- 1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。

上士幌高校です!

文責: 教頭

No. 23
令和2年
2月25日

TITLE: 宿泊研修が終わりました

1年生が先月の30日(木)から1泊2日の宿泊研修を行ってきました。当日は結構な降雪となり朝の集合が心配されましたが、通学バスは通常運行し、無事に出発することができました。糠平もかなりの積雪でしたが風はなく、絶好のスキー日和の中、5班に分かれスキー研修。不得意な生徒も一生懸命に滑りウィンタースポーツを満喫しておりました。昼食では、驚いたことに、生徒はまとまって食事をとっていました。教員の誰一人、指示したわけでもなく、自然と他のお客様や他校の生徒に配慮したようです。小心者なのか、それとも気づいたのかは分かりませんが、一般のお客様に迷惑をかけないで行動していたのが非常に印象的でした。これからも学年の絆を大切に、気づいできる生徒でいて欲しいと思いました。



△糠平館観光ホテルに泊まりました



△スキーの合間に仲良く食事



△救急救命講習も受講しました

上士幌高校新聞局通信



企業の社長さん方との面接で緊張しました

文責 早坂 柚香

2月7日(金)は2学年全員の同友会面接がありました。4つの班に分かれての集団面接で、私は「マミィ」代表取締役の南出雅樹さんでした。見た目が少し怖い雰囲気でも厳しそうだと思いましたが「クレヨンしんちゃんの組長と言われますが今回はキャラを作っていこうと思います」と宣言したので「?」と思いました。練習では自己紹介、長所・短所など練習してきた内容は答えられました。「この班の希望は人と関わる仕事だけけど共通点はなんだと思う?」といきなり尋ねられた時は誰も答えられず「人を笑顔にする職業だということだよ、保育士にしても調理士にしても」と言われ、私は確かにと頷きました。また「人生はプラスマイナス0」も記憶に残りました。これからの数カ月無駄にしないよう経験を積んでいけたらいいと思います。



△緊張 MAX です(真ん中が私)



△意見交換の場もありました



△改まった礼法なのでごちないです

Kamisishihoro High School